

JAAS News 第140号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2011年2月18日

< もくじ >		ペー ジ
1. 2010年度連続講座終了		1
2. 会員や学会の活動情報		2
3. 研究会のご報告とご案内		3
4. シニアニュース		4

1. 2010年度連続講座終了

昨年9月にスタートし、本年2月5日の第6回講座をもって、2010年度連続講座も無事終了いたしました。ご参加いただきました方々にはお礼を申し上げるとともに、多少なりとも知見を広めることが出来たら幸いです。来年度も9月以降、全6回の講座を銀座資生堂ホールにて開催予定です。概要が決まりましたらあらためてご案内いたしますので、従来同様多くの方のご参加をお待ちしております。
(事務局担当 鈴木記)

(1) 連続講座参加者の感想

第6回講座「新しい働き方」 講師：古村伸宏

①野田敏明さん(会員・調布市)

今回のテーマで、特に強い感銘を受けましたのは、実は本論への導入部分です。「新しい働き方」について考える意義あるいは必要性の源には、「交差し連鎖する様々な困難と危機」があるとの考えに対してです。

つまり、無縁社会の広がりや生活保護の急増、あるいは家庭や地域等のコミュニティーの希薄化が、社会を根本から揺るがせつつある諸課題(困難と危機)として横たわっているということです。これらは、マスコミ等で頻繁に取り上げられているテーマです。しかし、私自身を振り返れば、その理解度は「皮膚感覚」といったレベルまでには至らず、それ故、課題解決の一助等に向けた具体的な行動とは縁遠いものがあります(した)。

そうした中、今回、これらの課題解決に向けた草の根とも言える地道な取り組みの一つとして、学校や地域を軸としての「弁当の日」の取り組みの紹介がありました。弁当を作ることを通じて、児童が「働くこと」の意義を知り、その過程において、家庭・地域でのコミュニティーが活性化するという仕組みのなんと素晴らしいことでしょう。「たかが弁当、されど弁当」です。

このような取り組みへの推進主体としての役割を担うであろう協同労働(ワーカーズコープ)の今後の活動に対し、期待を込めて注視していきたいと考えました。

併せて、会社定年を数年後に控えた私が、地域社会のための小さな一歩としての「たかが〇〇、されど〇〇」について考えてみようというキッカケにもなりました。誠にありがとうございました。

②三好和仁さん(会員・調布市)

現在就職活動(就活)中の自分にとって、「新しい働き方」というテーマに関心を持ち、受講いたしました。

受講してまず良かったと思ったことは、「働くこと」を自ら問い直したことでした。就活中の自分は、金を稼ぐために働こうとしていないか、少なくともそちらに重きを置いてはいないか、

自問自答しました。誰のために働くか、何のために働くか、目的意識の軸足あるいは立ち位置を確認する必要を感じました。

第2に「協同労働」という「新しい働き方」を知ったことでした。従来の雇用労働とは、ある意味で「働く者」の主体性において対極にあるものと位置づけられるのかもしれませんが。「働く者」（労働させられる者ではなく）が消費者や出資者と協同組合の運営に関わり、まちづくりに貢献していこうなど7つの原則の基づいた行動指針に共感いたしました。ただ、雇用労働とはいえ、会社や組織によっては、「協同労働の協同組合」に近い運営を行っているところもあると思うので、相反するものではないと思いますが。

第3に、質疑応答でも取り上げられていましたが、今後事業の展開に伴う組織運用上の問題がいろいろと発生してくると思います。民主的運営を強行するあまり衆愚政治に陥らないようにとか、役員などの人選についての懸念表明があったように思います。どんな問題が起きようとも、基本的には定義や使命に立ち戻って、よく議論し、時代のニーズに合ったものを再構築していく必要があるのかなと思いました。

最後に、講演前半は画面が無くてチョッと分りづらいところがありましたが、熱のこもった古村氏の熱意と迫力に引っ張られ、後半からは何とか、彼が目指す「協同労働の協同組合」について理解できるようになりました。「協同労働の協同組合」の事業は、必ずしもすべての事業に適応できるものとは思いますが、例えば福祉関係や農業関係など出来るところから、新しい公共の創造に向けてその可能性を追求して欲しいと期待しています。

2. 会員や学会の活動情報

(1) 「高齢者コミュニケーション支援サポーターマニュアル」プロジェクト発足と、プロジェクト員募集のお知らせ

シニア社会学会 運営委員会

シニア社会学会は、この度、団体会員である情報環境デザイン研究所が東京都中小企業応援ファンド助成事業として実施する題記の事業について委託を受け、学会として初めての「プロジェクト事業」として取り組みます。（金額は50万円）

このような受託事業を学会として取組む実務方法を運営委員会で検討し「品質、納期遵守」「会員の事業関与の公正」「収支管理の厳正」とするため「プロジェクト体制」で運営することにしました。プロジェクトは、担当役員、プロジェクトマネージャー、プロジェクト担当事務局員を運営委員会が任命し、実働メンバーを会員から公募し、それぞれ役割を分担することで、仕事の漏れ、不公平、不公正が起らないよう努めます。

サポーターマニュアルは4月に完成しますが、これを機に次年度の新たな事業につながることを期待しています。

なお、上記プロジェクトの実働メンバーをプロジェクト員として以下の要領で公募をしております。プロジェクトの完遂を図るため、実務担当する会員を公募します。

次の条件の業務にスキルがある、あるいは興味がある方は、プロジェクトマネージャーまでお問合わせください。

1) 担当業務、必要なスキルと必要人数

① 調査企画員

- ・ICT 機器操作を超初心者に教え、サポートする能力に関し知識がある人
- ・孤立した高齢者のコミュニケーション支援に関して知識がある人

以上の関連で2~3月に数日間、出張調査、および講習会資料をまとめられる会員。

1 ないし 2 人。

② マニュアルライティング員

・Microsoft Word で「講習会資料」の形でマニュアルを作成作業できる人。

2～4 月上旬に正味 10 日間ほど作業が出来る会員。

1 ないし 2 人。

2) 決定

プロジェクトマネージャーと連携して仕事をする関係で、話し合いのうえ、決めさせていただきます。

3) 謝礼・報酬

交通費など実費のほかに、時給 1,500 円程度の謝礼をさせていただきます。

4) 問い合わせ先

プロジェクトマネージャー 堀池喜一郎（理事）まで。

電話：080-1225-4485

メール：asukoya@gmail.com

※公募締め切り：公募のお知らせの添付書類に従い、2月25日までにお問い合わせください。

(2) 学会主催のシンポジウムのお知らせ

助成金を得て実施中の「ICT利用による高齢者の社会的孤立化防止プログラム」プロジェクトもいよいよ終盤を迎えています。アンケート調査や社会実験の集大成として、シンポジウムを行います。開催要領は以下の要領です。参加は無料です。お誘い合わせのうえご参加ください。

シンポジウム<無縁社会を超えて> ～ICT利用による都市高齢者の孤立化防止～

1) 日時：2011年3月26日（土） 13:30～16:30

2) 会場：お茶の水女子大学 本館3階306室（今年の大会会場）

3) 基調講演：「ほんとうの一人にならないために」（吉田太一）

4) シンポジウム（司会：袖井孝子会長）

5) 参加費無料、お申し込み・お問い合わせはシニア社会学会事務局まで

※詳細はHPにも掲載いたしますのでそちらをご参照ください。

3. 研究会のご報告とご案内

(1) 第47回社会保障研究会の報告

1) 日時：2011年1月27日

2) 場所：高齢者生活協同組合会議室

3) 講師：荒井 浩道（駒澤大学准教授）

4) テーマ：「ケアする家族への支援」

認知症高齢者の家族介護者への支援方法においては、従来の教科書的な専門職による援助では限界があることが分かってきた。認知症家族会での支えあい方法をみると、“言いつばなし” “聞きつばなし” が高い効果を上げている。最近注目されているナラティブ・アプローチは、個人の語りを整理し、問題を外在化し、ユニークな結果に着目し、個人の物語を書き換えて解釈を広げることで、個人をエンパワーする方法である。認知症家族会（ピアサポート）では専門職支配からの離脱を試みてはいるが、専門職を排除する必要はない。「専門職による専門性の権威化」と、「当事者による経験の権威化」の対立を超えて、両者のパートナーシップを構築することが必要なのである。

（林 葉子 記）

(2) 第48回社会保障研究会のご案内

- 1) 日時：2011年3月3日(木) 18時～
- 2) 場所：高齢協会議室(要町光文社ビル6階)
- 3) 講師：五石敬路(東京市政調査会)
- 4) テーマ：「高齢者施設の政策体系と矛盾～歴史的経緯と現状」

※なお、2月はお休みです。

(担当 林 葉子)

(3) 第10回「21世紀の倫理」研究会のご案内

- 1) 日時：3月15日(火) 16:30～19:30 (※時間が変更になります)
- 2) 場所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：「21世紀の倫理・シニアのよりよい生きかたとは何か」をテーマに問題提起と討議
- 4) その他：①研究会参加費として300円を徴収させていただきます。

※お問い合わせ等は、事務局島村までお願い致します。

4. シニアニュース

(1) 第10回大会開催のお知らせ

前号でもお知らせいたしましたが、2011年5月21日(土)に第10回大会を開催いたします。会場は昨年と同じ、文京区のお茶の水女子大学講堂です。お忘れなく、ご予約に入れてくださるようお願いいたします。開催概要は、あらためてお知らせいたします。

また、会員各位より、活動事例または研究テーマについてのご発表をいただくプログラムを予定しています。応募は3月23日(水)までに当学会事務局宛に郵送・FAX・Eメールいずれかの方法でお送りください。運営委員会での選考を経て、3月下旬頃にあらためてご依頼の通知をさせていただきます。(募集要領はHPに掲載されているニュースのバックナンバー139号をご参照ください)

一般社団法人シニア社会学会・事務局 (月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
E-mail：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>